

■英国：貯蔵プルトニウムの取扱いについてコンサルテーション開始

エネルギー・気候変動省（DECC）は 2011 年 2 月 7 日、英国国内で貯蔵されているプルトニウムの取扱いについてのコンサルテーション（パブリックコメントの募集）を開始した。現在、セラフィールドとドンレイに 112 トン（内 28 トンは海外顧客の所有）のプルトニウムが保管されている。コンサルテーション文書では、(1) MOX 燃料として再利用、(2) 廃棄物として直接処分、(3) 長期貯蔵の継続の 3 つの選択肢が示されている。政府は MOX 燃料としての再利用が、実証済みの技術であり、核不拡散の面でも好ましく、最も有望と考えている。コストの面でも直接処分とほとんど同じと見積もっている。費用は、(1) が 50-60 億ポンド（このうち 20 億ポンドは燃料としての価値で相殺される）、(2) が 50-70 億ポンド、(3) が 110 年間の貯蔵で 80 億ポンド。コンサルテーションは 5 月 10 日まで行われる。